

小俣図書館 図書館行事 ご案内

おはなし会 1階・おはなしのへや

1月 9日(土) たんぽぽ読書おはなし会、午後3時~
1月 17日(日) ビッポの会・紙芝居、午前11時~



★「赤ちゃんおはなし会」 1階・おはなしのへや

1月 14日(木) 午前11時~



★図書館おはなし会&工作教室

(1階・おはなしのへや)



(日時) 1月23日(土) 午後3時~
(対象) 3歳~小学生 (工作教室では、就学前の子どもは保護者同伴)
(内容) 昔話の絵本を読んだ後、「貝合わせ」の工作を行います。参加自由です。

◆映画上映会 2階・視聴覚室

1月16日(土) 午後2時~

「ライラの冒険」(日本語吹替)

2007年 アメリカ 《上映時間 113分》

トラのおめん 大募集!!

(内容) 小俣図書館の玄関にかざるトラのおめんを募集します。どなたでも参加していただけます。
※用紙は小俣図書館で配布します。

(募集締切) 1月31日(日) まで
【展示は、受付日より~2月28日(日) まで】
展示場所: 小俣図書館玄関



とらンプカルタ大会

(日時) 1月10日(日) 午後2時~
(内容) みんなから募集したカルタを使って、しんけいすいじゃくをします。
(場所) 2階・ホール
(対象) 小学生以上
※申込みは不要です。



角野栄子講演会

~お話の宅急便~

(日時) 2月7日(日) 午後2時~
(内容) 角野栄子さんのたのしいお話
(場所) 2階・ホール
(定員) 250名(整理券あり)
(申込み) 1月6日(水) 午前9時~
小俣図書館カウンター
(電話・FAX可)

開館時間 月・水・木・金・土・日 午前9時~午後7時
休館日 毎週火曜日
第2金曜日、年末年始、特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内
(10冊のうち雑誌は5冊まで)
1団体50冊1ヶ月以内
(50冊のうち雑誌は25冊まで)

小俣図書館カレンダー



Calendar for January and February showing dates and library events.



伊勢図書館 図書館行事のご案内



「おはなし会」

毎週土曜日 午後2時30分~

1階・おはなしコーナーにて

1月9日・16日・23日・30日/おはなしプーさんによるおはなし会

毎週、絵本の読み聞かせ等をやってます!

「あかちゃんえほんのじかん」

(日時) 1月28日(木) 午前11時~ 2階・視聴覚室

(内容) あかちゃんむけの絵本の紹介や手遊びなどをします。

「映画上映会」

1月10日(日) 午後1時30分~ 2階・視聴覚室

『いつか読書する日』

第29回モントリオール世界映画祭審査員特別大賞受賞

《上映時間 127分》

開館時間 月・火・木・金・土・日 午前9時~午後7時
休館日 毎週水曜日
第2金曜日、年末年始、特別整理期間

貸出 1人10冊 2週間以内
(10冊のうち雑誌は5冊まで)
1団体50冊 1ヶ月以内
(50冊のうち雑誌は25冊まで)

伊勢図書館カレンダー



Calendar for January and February showing dates and library events.

思い出をスクラップ! 「手作り本講座」

日時: 2月7日(日) 午後1時30分~3時30分

場所: 2階・小会議室

内容: 作文や絵をスクラップしたり、
またはお気に入りの表紙でスケジュール帳を作ります。

対象: 高校生以上

定員: 10名(先着順)

申込: 1月23日(土) から

カウンター・電話・FAXで



「歴史小説家 司馬遼太郎がゆく」



司馬遼太郎氏が亡くなられてから今年の2月で14年になる。
そしてとうとう『坂の上の雲』が放映されることになった。
読んでためになる、しかも面白い小説を書く作家という印象を持つ方もいるだろう。

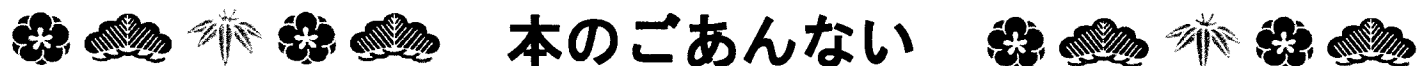
しかし、それだけでは語りつくせない人物である。
和田宏氏が書いた『司馬遼太郎という人』にも、司馬遼太郎とは、人に対して偉ぶらない人であったとある。

~偏見をもつな。相手が幕臣であろうと乞食であろうと、教える
受けるべき人間ならおれは受けるわい。~ 『竜馬がゆく』
人気作家でありながら、こうした態度が人を引き付け、さらに人に愛されていったのだろう。

そんな司馬遼太郎の熱い思いがこめられた小説をご紹介します。

日時: 1月5日(火)~1月31日(日)

場所: 伊勢図書館 1階 特設コーナー



本のごあんない



今月のテーマ 「庚寅」

干支は中国の天文学で十干と合わせて「かんし」と呼び、木星が12年で天を一周することから天を12分割したものです。その干支の呼び名へ動物の名前をあてたものが十二支の呼び名です。そして、今年は「庚寅」ということになります。寅年生まれの方は決断力があって聡明とされていますが、みなさんのまわりの寅年さんたちはどうですか？

〔一般書〕

- ◎ 干支から見た日本史 (邦光史郎／著 毎日新聞社)
- ◎ 干支の切り紙 (大原まゆみ／著 誠文堂新光社)
- ◎ 十二支の四字熟語 (諏訪原研／著 大修館書店)
- ◎ いまに語りつぐ日本民話集 動物たちの知恵くらべ (野村純一／監修 松谷みよ子／監修 リブリオ出版)
- ◎ 十二支(えと)と十二獣(どうぶつ) (大場磐雄／著 北隆館)
- ◎ 十二支の民俗誌 (佐藤健一郎／著 田村善次郎／著 八坂書房)

〔児童〕

- ★ おどいトラ(金森義作／再話 鄭香／画 福音館書店)
- ★ だるまちゃんととらのごちゃん (加古里子／さく・え 福音館書店)
- ★ ウェン王子とトラ (チェン・ジャンホン／作・絵 平岡敦／訳 徳間書店)
- ★ とらはえらい (五味太郎／作 クレヨンハウス)
- ★ 十二支のおはなし (内田麟太郎／文 山本孝／絵 岩崎書店)
- ★ ほんとのおおきさ動物園 (小宮輝之／監修 福田豊文／写真 学研)

〔ヤングアダルト〕

異国の猛獣「トラ」は日本人の想像力をかきたてる動物として親しまれてきました。2010年の寅年にちなみ、幻のシベリア虎の棲む山に挑んだカメラマンの記録、スーツを着た虎のミスター・フーや虎の弟子になったトムが活躍する古代中国の伝説から生まれた奇想天外なファンタジーなど、本の中でも息づく虎をご紹介します。

〈児童〉

- ☆きみはなにどし? (加納信雄／文 U. G. サトー／絵 福音館書店)
- ☆虎と月 (柳広司／作 理論社)
- ☆虎の弟子 (ローレンス・イエップ／著 金原瑞人／訳 西田登／訳 佐竹美保／画 あすなろ書房)
- ☆むかしむかしとらとねこは・・・ 中国のむかし話より (大島英太郎／文・絵 福音館書店)
- ☆とらとほしがき (パク・ジェヒョン／再話・絵 おおたけきよみ／訳 光村教育図書)

〈一般〉

- ☆虎山へ (平岡 泰博／著 集英社)



〔ふるさと〕

元日や神代のことも思はるる

荒木田守武

新春、檜の芳香に包まれた生まれたての宇治橋の真上に朝日が昇ります。

「檜は瑞宮(みつみや)へ」

須佐之男命は船を作るために自分の髭を抜き杉とし、胸毛を抜き檜とし、眉毛は櫛樺(くすのき)としました。そして「杉と櫛樺、このふたつの樹は浮宝とせよ。檜は瑞宮へ」と仰せられました。

—日本書紀—

日本書紀は神々の時代・国のおこりから持統天皇の代までを記します。20年ごとに営まれる遷宮の初めは持統天皇4年(690年)、庚寅(かのえとら・こういん)年籍が完成された年です。



伊勢参宮宮川の渡し 安藤広重筆
(神宮徴古館農業館蔵)

「伊勢に行きたい伊勢路が見たい、せめて一生に一度でも」と唄われた伊勢。

文政13年(1830年)庚寅年には全国民の6人に1人が参宮したと伝えられています。

今年平成22年(2010年)は庚寅年一。

60年に1度のお蔭年です。

- ◆神宮参拝記大成 復刻 (神宮司庁／編 吉川弘文館 L174/ダ/12)
- ◆参宮の今昔 (大西源一／著 神宮司庁教導部 L174/オ)
- ◆伊勢参宮名所図会 (薮関月／編 臨川書店 L290/イ)

★伊勢・小俣図書館のどちらかに所蔵がある本です。
ご利用館にない場合は、予約ができます。